

CONTACTメール送信プロセス

AIがメールを添削 顧客アプローチの品質向上を！

Before

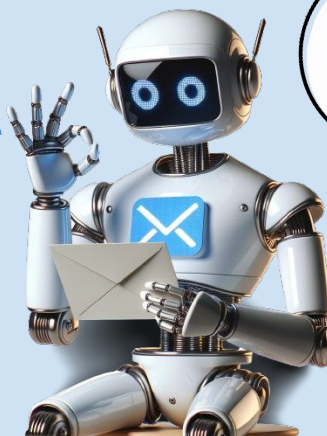
メールの宛名誤りや誤字脱字、
気付かず送信 ...



After

AI
支援

誤字・脱字があれば、送信不可！
言い回しや表現を添削！

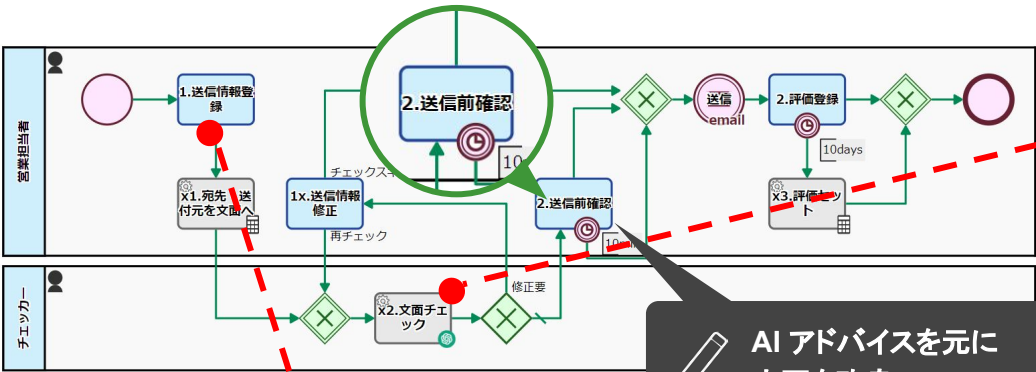


語調、
整えると
良いかも

送信OK！

ChatGPT

実現例：メール文面・件名から ChatGPT が送信可否を決定、言い回しをアドバイス



AI アドバイスを元に
文面を改良

1

登録 メール件名・文面



メール件名

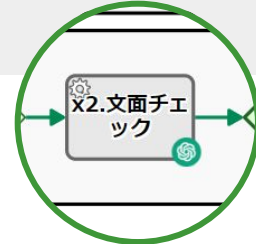
【業務改革を推進】ワークフローで AI活用

メール文面

株式会社今出川 綾小路 二条様
 いつもお世話になっております。テスト太郎です。
 お試し利用はいかがでしょうか？不明点、遠慮なくご連絡くださいませ。
 エグザンプル社では、「ワークフローで AIを活用し、効率化を図る！」
 ChatGPTを活用した記事・文章作成で工数制限。品質向上
<https://example.com/ja/solutions/automatic-proofread-in-chat-gpt/>
 といったサンプルを用意しています。オンライン会議でデモンストレーション可能です。
 ぜひ、ご連絡くださいませ。引き続き、よろしくお願い致します。
 株式会社エグザンプルテスト太郎 <taro@example.com>

2

設定 プロンプト (Chat GPT)



インサイドセールス担当者から見込顧客へ送信される
アプローチメールのチェックをしてください。

#命令書

- ・[メール文面] の1行目が[企業名],[担当者名]で記載されているかチェックしてください。
- ・[メール件名] が[メール文面]をまとめた件名になっているかチェックしてください。
- ・[メール文面] の1行目から10行目までで宛名や送信元が二重に記載されていないかチェックしてください。
- ・[メール文面] に読みづらい言い回しがあれば、文末に記載してください。
- ・チェックの結果、誤りが発見できれば "<誤記>"を先頭行に記載・改行の後、誤り内容を記載してください。誤りがなければ、<問題無>を先頭行に記載してください。

#入力文

[企業名] #{#q_corp_name}
 [担当者名] #{#q_person_name}
 [メール文面] #{#q_email_body}
 [メール件名] #{#q_email_title}

3

送信可否 アドバイス



A:Check Result

<問題無> …誤記や言い回しに問題がある場合、文頭に”<誤記>”と記載。”修正要”の流れへ
 ただし、[メール文面]において「Chat GPTを活用した記事・文章作成で工数削減品質向上」という記述がありますが、
 「ChatGPTには、どのような機能があるのか」「具体的にどのような業務改革が期待できるのか」といった点を具体的な例
 とともに記述するのが適切と思われます。